

(3) 森づくり課の事務・事業

①市営林造林管理事業

・市営林保育事業

市には約3,000haの市営林があります。この森林で間伐・作業道作設・森林認証取得・森林保険加入等の事業を行っています。

2024（令和6）年度は、下表のとおり事業を実施しました。

表 2024（令和6）年度市営林保育事業

場所	整備内容	実施数量
大滝栃本地区	作業道作設	41 m
高篠定峰地区	搬出間伐	5.55 ha
秩父市大野原	支障木伐採	1 本
秩父市太田	支障木伐採	0.1 ha
秩父市大宮	支障木伐採	0.99 ha
秩父市上影森	支障木伐採	0.01 ha
吉田市場広瀬市有林	雑木刈り払い	1.45 ha
大滝栃本地区	樹皮ガード設置	890 本、8.9ha
高篠定峰地区 (2023(令和5)年度繰越事業)	搬出間伐	4.73 ha
秩父市有林全域	森林管理認証取得	3,004.98 ha
秩父市有林の一部	森林保険加入	128.48 ha
(以下、地域おこし協力隊)		
秩父市上影森	間伐	0.25 ha
栃本市有林・高篠市有林	作業道作設	300 m



地域おこし協力隊による作業風景

・ふるさと文化財の森

文化庁では、文化財建造物の保存修理に必要な資材の供給林及びそれら資材採取の技能者を育成する研修林を「ふるさと文化財の森」として設定しています。

市有林のうち、樹齢100年生をはじめとする高齢級のスギ・ヒノキ等の森林が約60haまとまっている栃本市有林においては、「200年生の森づくり」基本方針を策定し、将来的に文化財修復用材としての利用も視野に入れ育成しています。なお、2019（平成31）年3月20日には「ふるさと文化財の森」【^{ひわだ}檜皮、木材（スギ・ヒノキ）】の設定を受けています。

2018（平成30）年7月6日には、公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会と「檜皮採取に関する協定」を締結しました。

2024（令和6）年度は378.5kgの檜皮が採取されました。



檜皮採取作業



まとめられた檜皮

②森づくり事業

・企業の森活動事業

市では、企業のCSR活動の一環として行われている「企業・団体による森づくり」活動に取り組んでいます。普段森林と接する機会の少ない都市住民の方を中心に、市有林をフィールドとして植林や下刈、間伐等の森林保育活動を実践していただいています。協定は「埼玉県森林づくり協定」に基づくもの、その他のものがあります。



株式会社オリエントコーポレーション
「オリコの森」 除伐の様子



本田技研工業株式会社
「ホンダの森」 活動の様子

・ 緑の家庭募金事業

市では、公益社団法人埼玉県緑化推進委員会と協力して、緑の家庭募金を実施しています。各町会ごとに「緑の募金」に協力いただき、前年の募金額の半分が同委員会を通じて市に交付され、緑の家庭募金緑化事業として国土緑化、身近な緑の創出等に活用されています。2024（令和6）年度においても、2023（令和5）年度の募金額の半分が市に交付されました。市では、この交付金を活用して、市有林の間伐事業等、募金の趣旨に沿った取組を行っています。

2024（令和6）年度の募金実績は、下表のとおりです。

表 2024（令和6）年度緑の家庭募金

2023（令和5）年度募金額	1,257,179 円
2024（令和6）年度緑の家庭募金緑化事業交付額（実施額）	628,000 円
2024（令和6）年度募金額	1,272,929 円

・ 秩父森づくりの会

秩父森づくりの会は2012（平成24）年に設立され、秩父市と公益社団法人埼玉県農林公社が所有する横瀬町芦ヶ久保地内の分収林を主な活動拠点として、ボランティアで森づくり活動を実施しています。2025（令和7）年3月末時点での会員数は、32名となっています。

2024（令和6）年度の活動は下表のとおりです。

表 2024（令和6）年度秩父森づくりの会の活動

活動内容	活動回数（回）	参加人数（人）
間伐、集材、玉切り、薪づくり等	21	173



間伐等



薪用材の玉切り等

秩父森づくりの会 活動の風景

・としまの森づくり事業

市と豊島区は1983（昭和58）年に姉妹都市の提携をして以来、41年間と長きにわたり交流を続けており、この交流事業の一環として、2019（令和元）年度からは、「としまの森づくり事業」を実施しています。

2024（令和6）年度の活動は下表のとおりです。

表 2024（令和6）年度「としまの森づくり事業」実施内容

整備内容	実施数量
刈り払い	2.1 ha
大径木処理	126 本
境界柵設置	408 m
幼齡樹保護ネット設置	5 回
植栽	5 本
イベント指導	2 回
巡回・整備	2 回



としまの森
整備前（左）と整備後（右）

③木材活用推進事業

・ウッドスタート事業

市では2014（平成26）年3月に「ウッドスタート宣言」を行い、新生児の10か月児健康診査時に、誕生祝い品として木のおもちゃを配付しています。木のおもちゃは「TUMICCO（つみっこ）」、「ちちぶの幸」、「木守りのおうち」のいずれかを選ぶことができます。

2024（令和6）年度は、「TUMICCO（つみっこ）」42個、「ちちぶの幸」112個、「木守りのおうち」81個、合計235個を配付しました。



「TUMICCO（つみっこ）」



「ちちぶの幸」



「木守りのおうち」

・イベント出展

秩父産木材のPRのため、森づくり課、また、秩父地域森林林業活性化協議会として各種イベントに出展しています。

2024（令和6）年度の実績は下表のとおりです。

表 2024（令和6）年度イベント出展

期日	イベント名	場所
5月4日	秩父グリーンフェスタ	秩父市役所
8月17日・18日	ウッドコレクション	東京ビックサイト
10月5日	ふるさとふれあいフェア	さいたま市浦和競馬場
10月5日・6日	アクトグリーンエコウィーク	イオンレイクタウン
10月6日	としまエコライフフェア	豊島区役所
10月12日	西武線開線55周年イベント	西武秩父駅前
10月19日・20日	ファーマーズマーケット	豊島区イケサンパーク
11月9日・10日	第44回木が香る秩父フェスティバル	道の駅ちちぶ
12月7日	木育ワークショップ	東京おもちゃ美術館
12月19日・20日	ウッドコレクション	東京ビックサイト
1月25日・26日	全国植樹祭100日前イベント	ユニクス秩父

④森林環境譲与税運用事業

・森林保全巡視

不法採取者や山林火災等による被害を未然に防ぐため、巡視員によるパトロールを行っています。主に月2回程度（積雪期を除く）、市有林内の状況確認を実施しています。

2024（令和6）年度は1人の巡視員へ業務委託し、パトロールを実施しました。



巡視の様子

・集約林地測量及び資源量調査

2019（令和元）年度から始まった森林経営管理制度において、経営管理権の設定を検討している森林について、経営管理権設定の可否及び間伐等森林整備を行うための基礎資料として、境界保全図素図の作成や、森林所有者の境界確認・測量及び資源量調査を行っています。

2024（令和6）年度は、浦山地区の約100ha、久那・別所・尾田蒔地区の約10ha、荒川久那2,3林班の約55ha（2023(令和5)年度繰越）、下吉田23林班の約57ha（2023(令和5)年度繰越）についての事業を実施しています（一部令和7年度へ繰り越し）。

・森林整備事業補助金の交付

国庫補助や県単独補助の対象外となる森林等について、林業事業体等が実施する間伐等の森林整備を対象とした補助金制度を2022（令和4）年度から開始しました。

2024（令和6）年度の補助事業では、間伐事業21.7ha・作業道作設事業4,978mに対して、市内の林業事業体に計25,282,000円を支援しました。

・ 森林環境教育

学校の授業で森林・林業について学び始める小学校の児童を対象として、学校の近くに豊かな森林があるという立地を活かし、林業や木材加工の現場を見学していただき、地域の森林を知り、林業の大切さ、面白さを体感することで、地域の森林や林業という仕事に興味を持ってもらうための事業を行っています。

2024（令和6）年度は、荒川東小学校4年生23名・5年生12名、久那小学校4年生8名・5年生7名、吉田小学校4年生23名・5年生25名、太田小学校4年生17名・5年生18名の計133名が学習しました。また、社会科教諭17名に対しても実施しました。



森林環境教育の様子

・ 林業就業者対策事業

県内唯一の森林科学科を設置する秩父農工科学高校の生徒を対象にチェーンソー資格取得、林内作業体験、木材センター共販体験等を実施しています。本事業の実施により、林業体験を通じて林業を進路の選択肢の一つとしてもらうことを目的としています。

2024（令和6）年度は延べ62人が受講しました。



林業就業者対策事業の様子

・ 森林管理道保全工事

降雨による林道の崩壊は、側溝に土砂がたまり、排水不良が原因で発生することが多いと考えられています。林道の崩壊を未然に防止するため、森林管理道保全工事を行っています。

2024（令和6）年度は、下表のとおり実施しました。

表 2024（令和6）年度森林管理道保全工事実績

工事場所	実施数量	工事場所	実施数量
（秩父管内）林道大神楽線	336 m	（秩父管内）林道定峰線	2,589 m
（荒川管内）林道熊倉線	232 m	（大滝管内）林道大達原線	635 m



森林管理道保全工事
実施前（左）と実施後（右）

⑤ 森林管理道整備事業

・ 維持管理事業

森林の施業（造林、保育及び伐採等）を行うため、安全にこれらの森林に通える林道の整備として舗装の陥没箇所等の修繕及び、生活道路における除雪対応を行っています。

2024（令和6）年度は、本庁で舗装修繕工事を12箇所、除雪対応を3回実施しました。